

# Golden Age Project PRE-73DLX mk2



## 取り扱い説明書

(株) アンブレラカンパニー

[www.umbrella-company.jp](http://www.umbrella-company.jp)

## Golden Age Project / PRE-73DLX mk2

PRE-73DLX mk2 は 1ch ビンテージスタイルのマイク/ライン/楽器用のプリアンプです。PRE-73mk3 の優れたサウンドをさらに発展させたハイクオリティ・バージョンです。可変式のハイパスフィルターと出力 PAD などのプロフェッショナルな機能を追加搭載。さらにマイク入力とライン入力ごとに独立したトランスフォーマー（PRE-73mk3 はマイク/ライン共有のトランスフォーマー）により、オリジナル NEVE のゲインストラクチャーが再現されています。

旧モデルである PRE-73DLX からは、回路設計面でも内部コネクターを減らし、改善されたパワーサプライや 48V ファンタムパワー設計を採用するなどのアップグレードが追加されています。さらに今回より「AIR バンド EQ」が追加されたため高域に美しいエアー感を追加できるようになりました。

可変式の出力 PAD によって入力トランスで倍音を引き出したサウンドを適正なレベルでライン出力できるだけでなく、AirEQ やハイパスフィルターを駆使したサウンドメイク、さらにリアパネルにあるインサート端子に別売の EQ ユニット(EQ-73 など) を接続することで、NEVE1073 同様のマイクプリ+EQ のコンビネーションが再現できます。

信号経路は、抵抗、コンデンサ、トランジスタなどのディスクリートコンポーネントのみを使用します。ラインおよびマイク入力とライン出力は、それぞれ最適化された 3 つの異なるトランスが採用されています。古典的なビンテージ NEVE1073 モジュールのプリアンプセクションの音色は、温かくパンチがあり、音楽的な響きを加えられるマジックを持っており、その魔法のような音色を低価格に提供する事が Golden Age Project のミッションでした。

PRE-73DLX mk2 はクラシック NEVE の普遍的なアナログサウンドを、自宅スタジオや小規模なスタジオでも高レベルで再現できる最良のツールです。

## FEATURES

- ビンテージスタイル回路設計。オールディスクリート回路構成
- NEVE1073 スタイルのハイパス（ローカット）フィルターを装備（50Hz, 80Hz, 160Hz, 300Hz 選択可能）、18dB/オクターブのロールオフ
- 30 kHz で 3dB または 6dB のブーストを持つ 2 ポジションの AIR EQ 搭載
- 出力 PAD 機能。-7, -14, -21, -28 dB を選択可能。アウトプットトランスの後にこの機能を設けたため、より前段でのゲインを出力トランスに突っ込み、トランス特有の倍音を強く引き出すことが可能。歪みを演出しつつも適正なレベルで出力することが可能。
- カスタムメイドの 3 つの高品位トランスフォーマー（マイク入力、ライン入力、ライン出力）
- Carnhill Mic/ Line トランスフォーマーとハイパスインダクターを搭載可能なサーキットボード
- 伝統的な 1073 スタイルのゲインスイッチ（マイク/ライン入力セレクト式）
- XLR/TRS フォンコンボのマイク/ライン入力端子
- 2 系統のライン出力端子（XLR & TRS フォン）
- EQ-73 用インサートジャック(別売の EQ-73 などのユニットをインサートして NEVE1073 同様のマイクプリ+EQ のコンビネーションを再現可能)
- 最大ゲイン 80dB のマイク入力（リボンマイクにも最適）
- 1200 or 300 オームで切り替え可能なマイク入力インピーダンス（最適なマイクの音色を切り替えます）
- ライン入力のゲインレンジ：-20 to + 10 dB.
- アクティブ DI 入力：ギターやベースの信号をマイク入力トランスを通して DI 出力可能。入力インピーダンスは内部ジャンパで Hi-Z または 100k オームで切り替え可能。
- ビンテージスタイルのプッシュスイッチ(48v,INS,DI,LOW-Z)
- 再設計された優れたファンタム電源回路
- オーディオ回路とリレーおよび LED 回路用に個別のレギュレーターを備えたハイスペックな電源設計
- オーディオ回路とリレー、LED 回路を独立させた再設計されたパワーサプライ回路
- シンプル、効果的な 4 ステップ LED 出力レベルメーター。
- 信号経路にタンタルコンデンサを採用
- 600 オームの出力ターミネーションとグランドリフトスイッチ（リアパネル）
- 24V AC アダプター標準付属（PSE 認証 100V 日本向け仕様）
- ソリッドで頑強なシャーシデザイン

## CIRCUIT DESCRIPTION

信号はまず最初にトランスフォーマーに入力されます。マイク専用とライン専用を贅沢に用意しています。サウンドを吟味した素晴らしいオーディオトランスを採用しています。マイク入力のトランスは 2 ワインディング仕様でシリーズまたはパラレルで使用することで 1200 オームまたは 300 オームのインピーダンスで使用できます。

トランスフォーマーは 2 つの入力ゲインステージを持っています。50dB までのゲインにはそのうちの 1 つを使用し、50dB 以上にはシグナルパスにインサートされた 2 つめのゲインステージを使用しています。両方のゲインステージにはそれぞれトランジスタを 3 つしか使用していません。

ゲインステージの後には、信号は出力ステージのアウトプットボリュームに送られます。このステージにもトランジスタは 3 個しか使用せず、最後にクラス A で動作させた、ずっしりとした 2N3055 パワートランジスタが採用され、出力トランスをドライブさせています。

## MODERN VS OLD

近年では低歪みで優れた IC がたくさんあります。しかしながら、PRE-73DLX MK2 にはそのような近代的な IC は全く使用されていません！PRE-73DLX MK2 のトランスフォーマーによる倍音（歪）は、全く歪みのない IC に比較するとある意味高性能とは呼べません。しかしながらその音楽的な美しい倍音成分、どんな楽器や声も“Better”に響かせてしまう魔法のサウンド、その耳に心地よいサウンドこそが、現代でもビンテージサウンドが好んで使用される秘密であり、音楽を録音する場合にはなくてはならないサウンドとなっているのです。

## USING PRE-73DLX MK2

PRE-73DLX MK2 を使用してマックスのパフォーマンスを引き出すポイントを上げてみます。

- AC24V の付属の AC アダプターから電源を供給します（付属のもの以外のご使用いただけません）
- フロントパネルの電源スイッチをオンにします
- XLR/TRS のコンボジャックに XLR またはフォンジャックを接続してライン、またはマイクのサウンドを入力します。マイクとラインソースは同時に接続することも可能です
- MIC/LINE のゲイン位置はゲインスイッチに表記されています。
- もし倍音を抑え、カラー少なくマイクの音を増幅したいときには、アウトプットのボリュームを最大位置付近で設定し、Mic/Line のゲインスイッチで全体のレベルを調整してください。出力 PAD は 0 で使用します
- もし倍音を多めに全体のキャラクターと色付けを強めに調整したい場合には、Mic/Line のゲインスイッチを高め、アウトプットのボリュームを絞気味に設定してください。また出力 PAD を使用する事により（PAD は出力トランスの後で実行されます）、さらに強くトランスに入力をつっ込んでも、PAD で出力をノーマルなレベルに抑え込むことができるようになります。倍音がリッチなビンテージサウンド、または歪みを加えたサウンドになります
- さらに強い色付けとキャラクターを実現するには、アウトプットのボリュームも同時に高く設定します。倍音と歪み感がさらに増し、力強い、ファットなアナログサウンドになりますが、同時に滑らかでスムーズな NEVE サウンドです。
- Air EQ は 30kHz 付近の高域を 2 段階にブッシュできます。OFF でバイパスです。
- GAP の PRE-73DLX MK2 は基準レベルが +4dB で設計されていますので、もし -10dB レベルの機器に接続するときには出力 PAD を -14dB の位置に設定してください。また出力レベルが 600 オームのロードで 1.23V の時に VU メーターの 0 位置が点灯します。
- 楽器を入力する場合にはフロントパネルに FET バッファーを使用した 1.5M オームのアクティブ DI 楽器入力（TRS フォン）が用意されています。この入力を有効にするには DI スwitch をオンにします。DI 入力はゲインスイッチのマイクポジションでゲイン調整します。リアパネルのマイクとライン入力も同時に接続された状態になります。
- コンデンサーマイクを使用する場合には 48V ファントム電源のスイッチをオンにしてください。機器を守るためにマイクの取り外しは 48V スwitch を操作してから 10 秒以上経ってから行ってください。
- LOW-Z スwitch をオンにすると、マイクの入カインピーダンスを通常の 1200 オームから、300 オームに変更します。この事でマイクのトーンとサウンドシェイプを変えることができるので、よりバリエーションの多いサウンドメイクを可能にします。また通常ですと全体のレベルも大きくなります。
- PRE-73DLX MK2 ではインダクターベースのハイパスフィルターを実装しています。ロールオフは 18dB/オクターブです

- PHASE スイッチはサウンドの位相を反転させます。マルチマイクの録音時にたいへん有効です。たとえばスネアドラムの上下に2本のマイクを使用するときなどに片側の位相を反転させます。
- リアパネルにはアンバランスのインサートジャックを用意しました。マイクプリに他のEQやエフェクターをインサートすることができます。通常はこの端子にはGAPのEQ-73をインサートします。オペレーティングレベルは-18dBuで、センド=Tip、リターン=Ringとなっています。このインサートジャックはフロントパネルからIN/OUTできます。
- 出力トランスフォーマーは600オームロードでも使用することができます。入力インピーダンスは10kオーム以上です。PRE-73DLX MK2を600オームでターミネーションしたい場合にはXLR出力ジャックのちょうど裏側（内部）にあるJP1ジャンパーを外します。低いインピーダンスをもったビンテージ機器と本機を組み合わせた場合などにお試しください（詳細は弊社技術までお問い合わせください）。
- グラウンドリフトスイッチはグラウンドループが起きる場合に必要に応じて切り替えを行ってください

PRE-73DLX MK2の電源が入らなくなった場合には、まずヒューズをご確認ください。1.5A ファストブロータイプのヒューズが標準使用されています。

# CUSTOMIZING PRE-73DLX MK2

いくつかの機能がユーザーによってカスタマイズできるよう PRE-73DLX MK2 は設計されています。トップパネルを空けて内部の回路にアクセスする作業のため、不明な点については必ず弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。誤ったカスタマイズによる故障や破損は保障対象外となります。また内部回路は感電などのおそれがありたいへん危険です。専門知識のないかたは弊社カスタマーサービスで作業を行いますのでまずご連絡ください。

## #1 アクティブ DI 入力のインピーダンスを 100k オームに設定したい場合

DI TRS ジャックの後側のジャンパーJP3 を両方のピンに刺さるようジャンパします

## #2 INSERT ジャックに入力がない場合に出力をカットする

INSERT out と表記されたジャンパ(LINE Input XLR と INSERT TRS 端子の間あたりに位置します)を変更します

## モディファイについて

本機のサーキットボードは Carnhill トランスフォーマーとインダクターにアップグレードできるよう予め互換性のある回路設計がなされています。最高のオーディオクオリティを誇り数多くのビンテージ機器の名機で使用されている Carnhill のトランスフォーマー仕様にモディファイする事が可能です。

Create Music

-Be Happy!